自公連だより

◎第6回目の公民館長会が9月16日午前9時から中央公民館で開催された。協議最初の役場各課、関係機関連絡では、

総務課から

交通安全について、交通死亡事故千日間ゼロの表彰を受けた。今後も続けて欲しいとのことでした。

次に宮交バスの飯干線については、10月から諸塚交通の運営になります。

産業課から

村の花“桜”のテングス病駆除をするので、高所作業車でないと出来ないところは申請するようにとのことでした。

建設課から

農村環境計画に関する会議の開催について、農業農村整備をする時に、環境への配慮や、地域の人の意向に対応しながら環境保全対策を行うための基本構想についての聞きとり調査を四地区地域振興協議会毎に役員に集まってもらい10月初旬に実施する説明が行われました。

教育委員会から

8月末に佐賀市で行われた九州地区公民館大会の反省について、自治会組織と公民館組織の二通りあり行事は一緒にするが会計は別など諸塚村の公民館活動や組織とは、だいぶ違うのであまり参考にならなかったと言う意見がありました。

次に10月末に行われる郡公民館連合会研修会と12月中旬に行われる県北公民館フェスタは公民館長全員参加することになりました。

農協から

総代の改選時期で10月7日が届出の締切なので期日までに提出して下さいとのことでした。

森林組合諸塚支所から

村内5ケ所で林業座談会をするので、山林所有者の出席をお願いしますとのことでした。

次回の館長会は、10月14日（火）です。
協議題にしてほしいことがありましたら、**事務局（65−0072）**までご連絡下さい。

鹿と心得よ……孝

昔から和歌の題材には梅、桜、桃、柳、モミジ、萩、菊など植物を詠んだものは多いのですが、動物を題材としたものは意外と少ないようです。それでもウグイスだとかホトトギス・チドリといった鳥類で声に特長のあるものは比較的多く登場しているようです。ところがこれが獣となると歌に現れることはあまりありません。

唯一の例外は鹿で鹿だけは百人一首の中でも「奥山に紅葉踏み分け鳴く鹿の…」「山の奥にも鹿の鳴くなり…」と何故か人気を独占している感じがあります。人気の原因はどうも姿や形ではなく花礼にもモミジの木に鹿とあしらった構図のものがあるようにその季節は秋で「声聞く時ぞ秋は悲しき…」のように秋は種の保存をかけた鹿たちの繁殖の季節で雄鹿が雌鹿を呼んで鳴くその声が哀調があり森に泌み渡るようだと残念ながらその声を聞いたことはありません。

さて、あの何本にも枝分かれした立派な角を持った雄鹿の雄姿や「子鹿のバンビはかわいいな…」の歌のように人々から親しまれている鹿ですが最近では、どうも始末の悪い害獣としての評価に変わってきました。まだ本村での被害は少ない方ですが、近隣の町村では桧の幼令木は喰いつぶされ、杉や桧の成木も無惨に皮を削れるなど被害はだんだんと増大の傾向にあります。このようになった環境をつくったのは外ならぬ我々人間であるという説も決して否定できませんが、丹精こめて育てて来た水田が収穫前の一夜か二夜にして収穫皆無となる程の被害に対しても電さくを張る方法が唯一であります。新植の林地にも網でガードするなどある程度の手だては講じて見ても根本的な解決にはつながりそうではありません。被害の現場を見ると自然の大切さすべての生きものとの共生がいかに大切かは頭の中では解っていてもこのままの状態で我慢できるものではないようです。地域によると猪、鹿に加えて猿の被害も悩みの種になっているようです。残念ながら現在のところ明確な解決策が見当たりませんが、今後さけて通れない問題で、これから先どうするかを「しかと心得えよ!!」といわれそうであります。

村内路線バス運行が一部変更となります。

10月1日から飯干・七ツ山線と荒谷線の一部を諸塚交通が運行することになりました。

また、これにより立岩線の一部の時間が変更となります。

①変更日

平成15年10月1日（水）朝の第1便から

②変更内容

（1）〜（3）の既存のダイヤを諸塚交通が運行します。

（1）飯干「発・着」〜塚原「発・着」便

（2）飯干「発・着」〜柳原「発・着」便

※飯干・七ツ山方面は全て諸塚交通に変更となります。

（3）荒谷「発」〜柳原「着」便

※朝の通学便が諸塚交通に変わります。

諸塚交通に移行しても時間、料金、便数等一切変更ありません。

ただし、宮崎交通が運行する塚原発、立岩折り返しの便が11時から午後3時に変更となります。

※なお、高齢者の「回数券」「悠々パス券」は今までどおり使えます。

ご不明な点がありましたら役場総務課地域バス担当までご連絡ください。

お知らせ広場

10月は、行政書士制度強調月間です

県行政書士会では、行政書士法の適正な運用並びに業務について理解を得るため、毎年10月を「行政書士制度強調月間」として、日本行政書士会連合会を中心とした各種行事を実施しており、その一環として「無料相談」を行っております。

(無料相談)

期　間　10月1日(水)～10月31日(金)

場　所　県内各行政書士事務所

(連絡先)

宮崎県行政書士会
宮崎市旭2丁目2－32
岡崎ビル2階
TEL　0985－24－4356
FAX　0982－29－4195

ウッドピア諸塚の職員を募集します

1 業務内容
造林、育林、伐採、搬出、道路の整備、環境整備、その他

2 採用予定数
現場作業員　若干名

3 応募資格
本村に定住する事を原則として18歳～35歳までの心身共に健康な方(学歴は問いません)

4 募集期間
平成15年10月15日(水)から11月14日(金)

5 提出書類
履歴書(写真添付)

6 試験
作文、面接(試験日は12月予定、後日連絡します)

7 待遇
給料　日給、月給(毎月支給)
手当て　時間外手当、扶養手当、通勤手当
賞与　毎年6月、12月支給
退職金　中小企業退職金制度加入
加入保険　労災、雇用、健康、厚生年金

8 休日
土曜日、日曜日、祝日、年末、年始

9 休暇
年次有給休暇、特別休暇

10 定年
満60歳

11 申込先
ウッドピア諸塚事務所
電話65－0465

わかりにくい標識はありませんか

10月1日～7日は全国道路標識週間です。

この週間は、現在の道路標識の設置状況や表示内容について、みなさんから御意見をいただき、今後の標識の整備に役立てるために、設けられたものです。

身近にある道路標識について、御意見がありましたら御連絡ください。

連絡先：諸塚村建設課
電話65－1129
宮崎県土木部道路保全課「標識BOX係」
電話0985(26)7183
及び日向土木事務所　諸塚駐在所　電話65－0020

秋の「行政相談週間」及び「行政相談所」開設について

行政等の仕事について、「このようにしてほしい」「どこへ相談してよいかわからない」などの苦情や意見・要望等がありましたら、行政相談員が住民と役所の間に立って、公平・中立な立場から、助言や関係行政機関等に対する通知を行い、その解決を促進するお手伝いをしています。

村民の皆さんに行政相談制度を広くお知らせし利用してもらうために、「行政相談週間」「10月20日(月)～26日(日)」を設けています。

本村では、次のとおり行政相談所を開設し、行政についての相談を受け付けますので、お気軽にご相談下さい。

相談は無料で、皆さんの秘密は守られます。

・日　時　10月24日(金)
午後1時から5時

・場　所　諸塚村中央公民館

10月は土地月間です

国土利用計画法では、一定面積以上の土地について売買などの取引を行った場合、利用目的審査のため契約後二週間以内に土地の所在する市町村長を経由して知事に届け出ることが義務づけられています。(山林等も届け出の対象です)

○届け出が必要な土地とは

一・市街化区域　2千㎡以上
二・一以外の都市計画区域　5千㎡以上
三・都市計画区域外　1万㎡以上

土地の有効利用実現のため、皆様のご理解とご協力をお願いします。

問い合わせは、
企画課　電話65－1116までどうぞ。

第55回全国植樹祭記念 式典への参加者を募集

一　全国植樹祭記念式典の概要は

◎開催日
平成16年4月25日（日）

◎場　所
西都市西都原古墳群特別史跡公園

◎内　容
天皇・皇后両陛下によるお手植え、お手播きや緑化功労者表彰など

二　応募方法
応募内容ご理解の上、所定の応募申込用紙に必要事項を記入し、諸塚村役場産業課まで持参または郵送ください。
申込用紙は産業課にあります。

三　応募期限
平成15年10月31日（金）必着

四　応募資格
森林や緑に関心を持つ小学生以上の県内の在住者。

諸塚村椎茸振興大会開催

去る八月二十一日、村中央公民館において椎茸振興大会が盛大に開催されました。これは、県椎茸品評会九連覇達成の祝賀と生産者への激励のために行われたもので、生産者と関係者合わせて百二十人が集い、農林振興局長の御祝辞と表彰行事に引き続き生産指導の研修が行われました。

現在椎茸は平均単価が三千八百円代で安定して取り引きされています。しかし、日本全国の椎茸生産量は、三千二百トンとなっており全国消費量の約二十％をまかなう程度で、まだまだ輸入物に依存しているのが現状です。日本産椎茸は、安全でしかも健康に良い食品とされ多くのテレビ番組等でも紹介され見直されています。今後ますます需要が高まることが予測され、生産量拡大と県椎茸品評会の夢の十連覇を目指し頑張っていこうと誓いを新たにした意義ある大会でした。

平成15年度　第55回諸塚村文化祭
公民館対抗産業共進会公民館別出品数一覧

今年も下記の表のとおり公民館対抗産業共進会を開催します。多数の出品をよろしくお願いいたします。

大項	項目	備考	荒谷	南川	家代	黒葛原	川の口	塚原	滝の下	諸塚町	松の平	髄白尾	七ツ山	川内	小原井	八重の平	飯干	立岩	計
林業部門	除間伐管理品評会	11～35年生で30アール以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
	椎茸原木林肥培管理品評会	5～12年生で20アール以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
	除間伐達成率																		
椎茸部門	春季品評会	700グラム以上	5	10	5	5	20	10	1	4	5	2	5	5	10	5	5	5	102
	〃	箱物	3	5	3	3	30	3	1	2	2	2	10	3	20	10	3	5	105
	秋季品評会	700グラム以上	3	4	4	3	4	3	1	3	3	2	4	2	4	2	3	4	49
畜産部門	飼養管理品評会	飼養農家の現地審査																	
	子牛せり市売上高	年間																	
	子牛生産率	年間																	
	子牛郡品評会	年間																	
茶部門	茶園管理品評会	3アール程度以上	1	2	2	1	1	1	1	1	2	1	2	1	1	1	1	1	20
	荒茶品評会	300グラム以上（5月に審査済）																	
その他	家庭菜園品評会	現地審査100㎡以上	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16
	農林水産物加工品評会	文化祭での入賞率（婦人部）	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	2	1	2	1	2	2	28
	木竹工作品品評会	木竹工作品のみ、文化祭での入賞率	2	2	2	1	2	2	2	2	2	1	2	1	2	1	2	2	28

個人出品の部

サイレージ、木炭、手芸裁縫品、書画美術品、写真、発明工夫品、学童幼児作品

白菜	2玉	キャベツ	2玉	チンゲン菜	2株	レタス	3株	ほうれん草	3株	花やさい	3玉
大根	3本	カブ	3本	葉ねぎ	3本	ごぼう	3本	玉ねぎ	3個	しょうが	2株
こんにゃく	3玉	ジャガイモ	10個	にんじん	3本	ゆず	5個	みかん	5個	落花生	300g
大豆	300g	小豆	300g	くり	30個	かき	5個	わさび	3株	キウイフルーツ	5個
その他											

第42回 東臼杵郡民体育大会

8月24日北川町で第42回東臼杵郡体育大会が開催されました。

本村からは、44名の選手が各種の種目に出場しました。結果はリレー競技で中学男子、一般女子が決勝へ進出し、個人の種目では優勝4名、準優勝3名、3位3名と健闘し昨年よりも順位を上げて総合の部6位でした。当日はこの夏の一番の暑さとなりましたが、選手の皆さんを始め応援していただいた皆さんありがとうございました。

さて、いよいよ来年は諸塚村で郡民大会が開催されます。総合優勝をめざして頑張りましょう。

個人種目上位入賞者

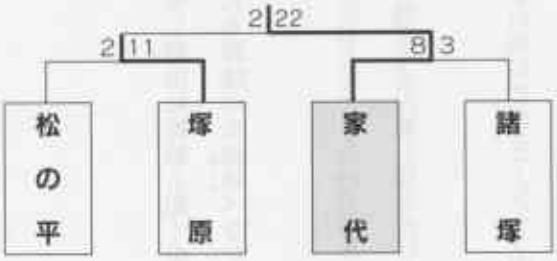
種　目	順　位	氏　名	記　録
35～39走幅跳	1	西川　淳	5m82
40～44　100m	1	黒木　雅文	12秒96
共通　走高跳	1	早川　賢治	1m66
共通　走高跳	1	中田るみ子	1m30
35～39　100m	2	黒木　裕治	12秒66
40～44　砲丸投	2	甲斐　保孝	11m68
30～39　100m	2	田中るみ子	14秒42
共通　砲丸投	3	佐藤　真理	7m45
共通　砲丸投	3	松本　圭子	9m00

総合の部

順　位	点　数	町村名
優　勝	192	北川町
2	164	椎葉村
3	150	南郷村
4	147	北方町
5	125	東郷町
6	120	諸塚村
7	119	北郷村
8	117	西郷村
9	112	門川町
10	89	北浦町

公民館親善ソフトボール大会

（優勝　家代公民館）



9月14日、10公民館（黒葛原・川の口は合同）が参加し公民館親善ソフトボール大会が行われました。心配された台風の影響も無く快晴の中、好プレー・珍プレーが続出する熱戦が繰り広げられました。

決勝トーナメントへは松の平、塚原、家代、諸塚が勝ち上がり、決勝は塚原と家代の対戦となりましたが家代公民館が猛打をふるい優勝しました。選手の皆さん、応援の皆さんもお疲れ様でした。

健康づくり壮年ソフトボール大会

9月8日から行われておりました健康づくり壮年ソフトボール大会は9月17日に準決勝、決勝が行われ、準決勝は滝の下が小原井を2点差で破り決勝へ進み、決勝は2年連続で滝の下と諸塚の対戦となりました。

決勝戦ではこの日2試合目となるにもかかわらず疲れも見せず、滝の下が7対3で諸塚を破り連続優勝しました。

諸塚短歌会

平成十五年九月作品（兼題：虫）

どれほどの虫の声やら四方からせせらぎの音に混じりて聞こゆ　**佐藤モモエ**

虫ひとつ五分の魂あると言う道這う虫をよけて通りぬ

うだる様な残暑の夜にねむられぬ耳をつらぬくすだく虫の音　**菊池　ゆき**

暑さなど記憶少なき若き頃八十路近くの身にこたえくる

ゲートボール広場の芝にたつ虫を追いて上下にトンボ飛び交う　**山本　正士**

薄夜明けかなかなセミの廻し鳴き見事に揃う山の楽団

わが丈を測るごと這ふ尺取虫そっとつまみて肩より下ろす　**尾形　森衛**

「リュウマチ」の変形の手をいたわるごと握れば温かし施設の老女

青虫が「さなぎになった」と幼児はひとみ生き生き得意気に言う　**平田カツ子**

喜ぶと思い見せたるくわがたを後ずさりして逃げだす「なお」くん

雨多く冷夏となりて蝉しぐれ聞くこともなく秋立ちて来ぬ　**西田　ちは**

夏バテを防ぐとききしチャンプルのゴーヤの苦味も乙な一味

子や孫等盆を過ごして帰りたり百合咲く山里に蝉の声残し　**浅田　照代**

興味もつイモリの生態田に残る貴重な一匹孫は捕えぬ

愛せよと友が送りし鈴虫は鈴振る如く虫龍に鳴く　**甲斐　みね**

朝毎に軒端に張れる蜘蛛の糸根競べなりと今日も掃きおり

世の中の事ある時にありてこそ人の力はあらわざるべし　**土持　保夫**

この夏もなかばを過ぎてまだ暑し残りの日々を涼しく生きむ

畑道のえのころ草の葉にとまるてんとう虫が風に揺れいる　**藤田　米夫**

衰える身体に伸びる髭と爪せめて生きいる証とはせむ

長雨のうさんくささも吹き出よと戸を開け放せば蝉の舞い込む　**成松　清則**

バイバイして盆に帰省の孫等発つ朝の庭に一人見送る

ひと夜さに薔薇の若葉を食いつくし行方わからぬ青虫野郎　**黒木伊知緒**

樹液にはもう飽きたるか鉄骨の窓枠に来て鳴く油蝉

５０３号線二号橋から七ツ山方面へ５００ｍほど登った道路右側にぬいぐるみが２体並べられています、誰が何のために置いたのか？謎のぬいぐるみなのでした。

諸塚再発見

シリーズ第2回

1. 黒原地区へ

国道327号線から、荒谷橋手前で林道荒谷線に入り、菌床栽培施設を過ぎて林道野の崎線を登ると、327号線から6km弱で黒原地区に着きます。日当たりの良い、なだらかな南向きの斜面に位置し、程なくして北郷村との境界というところに現在2世帯が生活しています。

最も多い時期には9世帯ほどが生活していたとの話で、村外の東郷や門川から、黒原のなだらかな地形を好んで、焼き畑をしに来ていたそうです。南の方角に山須原発電所を見下ろすことが出来ますが、電気が通ったのは昭和39年前後ということで、それまでは山須原に電気がともっているのをうらやましく見ていたそうです。今のように車道が集落まで通ったのも電気が通ったのと時期を同じくしてのことだそうです。

2. 生活する人々

1軒は早瀬正雄さんのお宅で、奥さんのタマノさんとお2人で水入らずと言うのがぴったりの雰囲気のお宅です。

2年程までは椎茸栽培をやっていたそうですが、今は腰が痛かったりでやめていると言うことでした。お年を聞くと、正雄さんが81歳タマノさんが80歳と言うことですが、しゃんとしておられてまだまだ若く見えました。

正雄さんは車の免許を50歳過ぎてから取得し、今でも毎日のように運転するそうです。「とにかく道が通ってさえおれば、車でどこでも行けるから便利になったもんじゃ。」「若いころは想像もせんことじゃった。」と言われます。

ただ、安全の事など考え、夜の運転はあまりしないようにしているそうです。

村外に住む娘さんや息子さんとも良く連絡を取っていると言うことで、お2人とも今の生活は楽しんでおられるという印象でした。

もう1軒は、日與川和志さんのお宅。奥さんの順子さん、娘の鮎美さん。息子の慶太君、和志さんのお父さんの忠さん、お母さんの好子さんの6人世帯です。長女の瑠美さんは学生で県外にいるそうです。

和志さんは林業組合の作業班長をしていますが、仕事が徐々に減ってきたことから、しいたけ生産に力を入れはじめ、平成9年に制度事業を受け、思い切って椎茸ハウス等の施設を建設し、原木に加え菌床栽培も始めたそうです。

ご存知のように輸入物に押されて価格の低迷が続いていましたが、最近は乾椎茸の値段が持ち直しており、和志さんも、「頑張って続けちょけば、いいこともある。」と言われましたが。まさにそのとおりなのだなと思いました。

早瀬さん2代目、日與川さんが3代目ということでも分かるように、地区としては新しい方に入るかもしれませんが、村外からわざわざ焼き畑に来ていたという話のとお

黒原集落

早瀬さん夫婦

日與川さん一家

り諸塚としては比較的なだらかな場所が多く、日当たりも良く、魅力ある土地であることは間違いないようです。

ただ、標高約6百mと、結構な高さにあり、「夏涼しく冬寒い」という順子さんの言葉のとおり、昔は、氷点下10程まで下がり空気中の水分が凍って輝いて見えるダイヤモンドダストが見られたそうです。「きらきらしてきれいじゃった。」とはタマノさんの談。

終わりに

やや涼しい秋の風を感じながらの取材でした。世帯は畑を挟んで建っており、草を刈った後は芝生のようになっていました。遠く下方には山須原地区が見え水平方向には諸塚、西郷の山々が望め、広がり、開放感をおぼえます。

和志さんは、慶太くんが仕事を継いでくれることを望んでいるようです。正雄さんとタマノさんも元気に今の家に住み続けることを希望しています。

集落が存続していくために必要な条件とは？一つには、それを支える村の、教育や医療、福祉のハード、ソフト両面の充実が、生活上も精神的安定の面でも大切なのでは、と今更ながら感じるのでした

黒原から山須原を臨む

養秀会空手道大会で諸塚道場が健闘しました

9月14日(日)日向市文化交流センターで養秀会南九州連合会空手道大会県大会が行われました。本大会も23回を迎え、演武に今年インターハイ優勝の宮崎第一高校の空手道部を招待して男女の型の演武が行われました。県内300名の選手が参加する中、諸塚からも20名の選手が参加し、18個入賞することが出来ました。これも夏の暑さの中厳しい練習に耐え一生懸命頑張った成果の表れだと思います。これからも青少年の健全育成の為に諸塚道場も頑張っていきたいと思います。本大会にあたり諸塚から協賛していただいた菊池建設、後藤自動車、諸塚JA給油所、右田工業、川崎酒店の方々に感謝申しあげます。

毎週火、木午後の6時30分からトレーニングセンターで練習を行っています。是非見学に来てください。

以下は大会結果です。

型の部

小学1年黄帯3位　菊池　俊作
4年青緑3位　岩切　奏恵
〃　4位　高木　慎

中学1年　準優勝　吉永　光
2年　優勝　松村　尚樹
3年　優勝　吉永　貴子
〃　3位　藤岡　寿幸
一般　4位　アンニャ・マゲネス

組手の部

小学1年　準優勝　菊池　俊作
4年女子　4位　岩切　奏恵
5年女子　優勝　佐々木照美
中学1年　優勝　吉永　光
2年　優勝　松村　尚樹
3年　優勝　藤岡　寿幸
〃　準優勝　佐々木孝嗣
3年　4位　甲斐　竜二
3年女子　優勝　吉永　貴子

古武道（サイの部）

優勝　吉永　貴子

「森の名手・名人百人」に尾形森衛さんが選ばれました

国土緑化推進機構の認定による「森の名手・名人百人」に黒葛原の尾形森衛さんが、昨年のメンパづくりの甲斐安正さんに続いて、選定されました。

この森の名手・名人とは森に関わる生業や地域生活に染みこんだ営みの内、優れた技をもってその業を極め、他の模範となっている達人を指し、昨年から始まった「もりのくに・にっぽん運動」の一環で、全国で百人ずつ選定しています。

尾形さんは、森の伝承文化部門の郷土民謡唄いとして、今年度の名人百人として認定を受けました。選定の理由としては、郷土民謡を育んできた功績、特に「駄賃付け唄」の掘り起こし等の貢献が評価されました。

おめでとうございます。今後のご活躍をお祈りします。